



**ア** アナタの明日と、共に有る  
**有明商事グループ**

福岡発のアイドルグループ・ばってん少女隊（スターダストプロモーション）の瀬田さくらさんを起用。「地元就活篇」と題し、福岡・熊本地区でTVCMを放送している。

建設資材、製紙、福祉・不動産、食品・農業など

## 創業120周年、大牟田から 差別化した多角化でさらに飛躍

### 有明商事グループ

創業120周年を迎えた有明商事グループ。現在では福岡県南や熊本県北を中心に6事業（物流、建設資材、製紙、セラミックス、福祉・不動産、農業・食品）を展開している。生活に不可欠なものづくりや福祉サービスなど差別化した多角化戦略で、これからも大牟田から日本全国へ「あなたの明日と、共に有る」を発信していく。

#### 創業120周年 地域密着の事業で基盤構築

同社のルーツは1899年に大牟田市で田畠理吉・守吉氏が創業した港湾荷役運搬業の「有明運輸店（後の有明組）」。1916年から電気化学工業（株）大牟田工場の化学製品の粉体輸送を手がけている。戦後、有明組はGHQにより解体。子会社であった有明商事（株）が同工場の荷役運搬業を引き継いだ。

1960年代には生コンクリートの製造を開始。現在では大牟田市や熊本市内に計5工場、碎石山、八代市にコンクリート二次製品工場を保有し、有明生コングループは中九州地区最大規模の生コン関連事業を誇っている。田畠社長は「これらの事業は地域性や取引先の業績、公共性に左右される」と話す。そのため収益基盤の確立を目的に、「人々が日常的に使用するもの」や「日本各地に販売可能なものの」をもとに多角化を模索した。



SINCE 1899

**ア**  
有明商事  
グループ

建資材部門  
農業・食品部門

運送部門

福祉・不動産部門

セラミックス部門

紙部門

SINCE 1899

**ア**  
有明商事  
グループ

田畠聰志副社長

田畠和章社長  
田畠博幸会長

#### 企業DATA

所在地／〒836-0843 大牟田市不知火町2-5-1シーザリオン2F  
TEL／0944-51-2020 FAX／0944-51-2023  
創業／1899年 資本金／5億円（グループ）  
事業内容／物流、建設資材、製紙、セラミックス、福祉・不動産、農業・食品 年商／130億円（2018年度）従業員／600人（グループ）  
関連会社／有明商事（株）、有明生コンクリート（株）、ボピー製紙（株）、九州セラミックス工業（株）、九セラ（株）、（株）有明ファームなど他 十数社  
URL／<http://www.ariake-syoji.mydns.jp/>

器の全国シェア40%を占めている。「これらの事業はニッチな市場だが、オンライン企業。日本各地の需要は絶えない」と自負する。

#### 福祉サービス、 アグリビジネスへの挑戦

1984年にボピー製紙（株）（八女市）を設立し、家庭紙の製造を手がけている。現在では24時間体制で日産60万個のトイレットペーパーを製造。田畠社長は「九州・沖縄から関西地区までの約400万人が日常的に使用する」と胸を張る。

87年には九州セラミックス工業（株）（大牟田市）を設立。耐摩耗性に優れた工業用のセラミックス二重配管を製造し、国内外の製鉄所や発電所、電気自動車の製造ラインの配管に利用されている。また、九セラ（株）（同市）では業務用の強化磁器食器を製造。セラミックスを使用し、一般的な食器の約3倍の強度を保つ。現在では日本各地の小・中学校や保育園などで使用されており、強化磁器食

作物を選択する同社。「農業従事者の平均年齢や日本の食料自給率などを考えれば、食料安保は必要。規制緩和を注視し、半歩先の挑戦をする」と参入の狙いを語る。

昨年は農地所有適格法人・（株）有明ファームを設立し、1.5ヘクタールの農地を取得。国の助成金を利用し、トマトハウスの増設を計画中だ。「収穫量は土耕栽培の倍を見込んでいるが、投資額も大きい。ビジネスとして成立するか否か、重要な分岐点」と力を込める。さらに、農業の六次産業化に取り組む同社。トマトやシイタケの不採り品を利用し、レトルト食品などを製造・販売する。「現在は手作りのレトルト加工といった高付加価値商品でブランド化を図っている。今後の課題はコストを抑制した日常品が製造可能かどうか」と着実に歩みを進めていく。